

授業科目名	ナンバリング (2017年度入学者 用)	授業の到達目標	DP① 実践的な語学や情報処理の基礎的な能力、文献購読・文章作成・コミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。	DP② 持続可能な社会に関する幅広い教養を身につけている。	DP③ 持続可能な社会に関する学際的かつ総合的な専門性を身につけている。	DP④ 持続可能性に関して具体的な課題について考察した上で、適切な判断を導き、それらを文章や対話を通じて表現することができる。	DP⑤ 社会の多様な人びとに対して共感する力と、現場(フィールド)から主体的に学ぶ姿勢を身につけている。
人間環境学への招待	BSP100HA	①人間環境学部での勉学の方向づけ(カリキュラム構成・コース・研究会などの理解)、②環境問題の基礎を学びアプローチの多様性を知ることが文献や資料の検索法、プレゼンテーションやレジメの作成法、議論の方法、レポートの執筆方法を身につけることができる。		◎			
基礎演習	BSP100HA	①Microsoft Office Word を用いて学術的なレポートを執筆する技術を身につけることができる。②Microsoft Office Excel を用いてデータの集計とデータの可視化の技術を身につけることができる。③Microsoft Office PowerPoint を用いてプレゼンテーション資料を作成することができる。④Web の情報検索を効率的に行うことができる。	◎			○	
情報処理基礎	COT100HA	①画像処理の基本的な技術を習得することができる。②模式図を自作することができる。③ウェブページを制作することができる。④インターネットにおける情報発信の技術を習得することができる。	◎				
ネットワークとマルチメディア	COT100HA	Micrisoft Office EXCELを使って統計学の基礎とデータ分析法を学び環境データを理解すること。	◎				
統計とデータ分析	PRI100HA	日常生活に必要なリスニング力が身に付き、様々なとっさの状況で適切な英語の表現を用いることができるようになること。	◎				
英語 I	LNG100HA	To be able to communicate with people freely	◎				
英語 II	LNG100HA	To be able to express one's thoughts clearly	◎				
英語 III	LNG100HA	To be able to acquire basic skills in business scenes	◎				
英語 IV	LNG100HA	Through the course, students will be able to: -define major schools and movements of design in Europe, North America and Japan in the 20th century -explain how social, economic and political contexts of each period influenced designs of everyday objects.				◎	
テーマ別英語 1	LNG100HA	Through this course, students are expected not only to deepen their understanding of inequality but also to develop skills critical to research and discuss social issues in English.				◎	
テーマ別英語 2	LNG100HA	To expand students' English competence through readings, listening and discussions on the theme of health.				◎	
テーマ別英語 3	LNG100HA	To expand students' English competence through listening to and discussing the various genres of music that contributed to the development of popular music in the 20th century.				◎	
テーマ別英語 4	LNG100HA	現実の具体的な社会問題がどのように憲法と関連付けられているかを学び、日本における法の支配について理解することを。憲法と関連して問題となっている社会問題について理解を深めることにより、将来の社会問題を法的に分析する視点を持つこと。				◎	
憲法の基礎	LAW200HA	市民が政策形成に与える影響やその手法を学び、政治・行政に関して当事者意識を持った判断や行動ができるようになること。				◎	
市民社会と政治	POL200HA	人間の行動ないし行為のメカニズムについて理解し、現代社会の諸現象を分析する思考法を身につけること。				◎	○
現代社会論 I	SOC200HA	1960～2010年の50年間の日本社会の変動を各種社会統計によって確認し、社会諸領域の変動が相互に関連して生じていることを理解すること。また、長期統計データの検索法・利用法および読解力を身につけること。				◎	
現代社会論 II	SOC200HA	「地域社会」そしてそこに暮らす人々が作る「家族」を取りあげ、1960～2010年の変化に関して各種社会統計を用いて理解すること。また、関連した、基礎的な概念・枠組みを理解すること。				◎	
現代社会論 III	SOC200HA	①NPOの存在意義や、NPOが活動・発展する上での課題を理解する。②今後の市民社会はどのような方向に進むべきか、市民一人ひとりが、社会とどのように関わるべきかという点の理解を深める。				◎	○
NPO・ボランティア論	SOC200HA	調査計画からデータ分析に至るまでの統計調査における一連のプロセスを理解すること。	◎				
社会統計論	SOC200HA	①「社会調査」の考え方、調査計画、調査法、報告作成法など、調査に必要とされる知識・技法を身につける。②調査結果の見方、調査の限界と問題点、調査における倫理などを理解する。	◎				○
フィールド調査論	SOC200HA	「ファシリテーション」についての基礎的な知識・技能を獲得すること。また、実際にファシリテーションを行う、「ファシリテーター」として行	◎	○			
ファシリテーション論	SOC200HA		◎	○			

グローバル・コミュニケーション	SOC200HA	The aims of the course are: <ul style="list-style-type: none"> to give students opportunities to better know themselves, their values and biases, and to develop an awareness of how these factors influence intercultural environment. to enable students to identify culturally learned assumptions and behaviours. to enable students to explore specific cultural group information and relate that knowledge to culturally learned awareness. to enable students to understand theoretical issues relevant to the study of intercultural communication. to develop the process of cultural adaptation. to promote positive attitudes towards the culturally different and to develop intercultural communication competence. Through this course, students will be able to prepare for their professional lives not only in their domestic society but also in an international society. Students entering the fields of business, teaching, social services and tourism will have opportunities to apply their skills in daily contacts with culturally different	○	◎		
サイエンスカフェⅠ	BSC200HA	化学の基本的な理論、必要な数値計算法、知っておくべき物質の構造と性質など、基礎化学理論を習得すること。		◎		
サイエンスカフェⅡ	BLS200HA	人間の身体の構造と生体のメカニズムを学ぶことにより、組織学、解剖学、生理学の範囲の幅広い知識を習得すること。		◎		
サイエンスカフェⅢ	BAB200HA	①野生生物の生活と生存戦略、②様々な生態系の特徴と仕組みについての基本的な知識を習得すること。		◎		
サイエンスカフェⅣ	PHY200HA	物質とエネルギーに関する内容について、物理学的な知識が環境問題を考察するための基礎であることが理解できるようになること。運動と力・エネルギー、物質と熱現象、気体、波動、電流と回路、電界と磁界、原子と原子核に関する高校物理の内容を習得できること。		◎		
自然環境論Ⅰ	GEO200HA	自然環境（気候や地形、水循環など）の地域的差異とそのメカニズム、歴史的な変遷の概要を習得し、人間社会が自然環境に左右される側面を認識		◎		
自然災害論	GEO200HA	自然災害を決定づける要因を俯瞰し、自然界がもたらすハザードや社会基盤の脆弱性といった側面から災害と正しく向き合う視点を習得する。		◎		
日本公害史と法	LAW300HA	産業公害に対する企業対応、行政対応、法の生成、役割を理解すること。		◎		
エネルギー政策論	POL300HA	①エネルギーの基本的技術構造の説明能力を習得する。②社会構造とエネルギー利用の関連性の説明能力を習得する。③国内政治とエネルギー利用の関連性の説明能力を習得する。④エネルギー需給構造について国際的要因の説明能力を習得する。		◎		
労働環境論Ⅰ	SOC300HA	労働環境を考える前提としての基本的な雇用問題、すなわち就職から入社後の賃金や昇進、昇給、教育訓練、退職、転職、労働組合など、仕事や雇用に関係する基本的な概念や現象を理解できること。		◎		
労働環境論Ⅱ	SOC300HA	コンプライアンスに基づいた円滑な仕事遂行を可能にする労働環境をつくるにはどうすればよいか、必要な知識を習得すること。		◎		
科学技術社会論	SHS300HA	科学・技術と社会との関わりを理解するために有用となる重要概念を理解し、それらを用いて具体例事例を論じる能力を身につけること。		◎		
開発教育	EDU200MA	①国際社会で積み上げられてきた合意文書、教材、報告書等から、人権、参加とエンパワメントに関する基本概念と歴史や経緯を理解すること。②人権尊重の思考と行動枠組、平和／暴力、多文化主義、ジェンダー等、人間理解と共生に必要な思考と行動のスキルを自分の生き方暮らし方、社会の現実と関連させながら理解し実践すること。③参加型学習の学び方（手法、概念、進行）を経験し、人々をエンパワメントする学習について		◎		
アーティストと社会貢献	SOC300HA	①アーティストの社会貢献活動の歴史、現状と課題について習得すること。②アーティストが社会貢献活動を通じて訴えたい現代社会の諸問題を習得すること。③アーティストの社会貢献活動を通して、自らの社会参加について思考力を高めること。④社会貢献活動の実践的な企画力を身につ		◎		○
環境教育論	SEE300HA	環境教育の目的やねらい、歴史的経緯、環境教育で扱われるテーマや主要な概念、教育方法についての知識を習得する。また、環境教育の現状や課題、可能性などについて複合的な視点を持ち、自分なりの考えを持つことができる。さらに、環境教育実践へつながる関心や意欲をはぐくみ、自分なりにプログラムや教材を考える視点や基礎を習得する。			◎	○
キャリア入門	SOC300HA	This class aims to give students an opportunity to study what the job career is, why they should learn it, and how it should be made. By so doing, this subject will give students hints to consider about their own career and help them understand issues about career making and make their own career in the future.		◎		
スポーツビジネス論Ⅰ	HSS211LB	ビジネスとしてのスポーツを成立させている要因や、スポーツ団体の運営を支えるメカニズム、及び、今後のスポーツの展望について、体系的な知		◎		
スポーツビジネス論Ⅱ	HSS212LB	スポーツビジネスの理論や知見を習得できること。また、現在のスポーツ界が抱える課題の発見とその解決策を考案しながら、スポーツの状況を理		◎		
行政法の基礎	LAW200HA	行政法の原理、行為形式等を理解することにより、現代国家に生きるものとして今後行政と関わる際の基本的な仕組みが習得できること。		◎		

民法Ⅰ	LAW200HA	市民間の取り引きやトラブル等を解決するための法制度および、トラブル等への法的アプローチの理解を通じて、法的思考が習得できること。	◎			
民法Ⅱ	LAW200HA	市民間の取り引きやトラブル等に対応する法の全体像を理解する。そして、その法の理解および、問題を法的に考え解決する力を習得できること。	◎			
国際法Ⅰ	LAW200HA	国際法の基礎理論を学び、国際秩序の基本的な法的枠組みを把握すること。	◎			
国際法Ⅱ	LAW200HA	国際社会における具体的な事象を法的に分析する素地を身につけること。	◎			
国際関係論	POL100HA	国際社会の諸問題について、基本的な事象とそれらの主要な分析枠組みを習得できること。	◎			
アメリカ法の基礎	LAW200HA	アメリカ法の基本的な制度を理解できるようになるとともに、法律問題の解決策がひとつではなく、様々なアプローチがあることを理解できるようになること。	◎			
地方自治論	POL200HA	地方自治の歴史や理論、制度に関する基本的な知識を身につけること。地方自治の最新の動向を、市民としての主体性を持って理解し、自らの考察を踏まえて判断できるような教養を身につけること。	◎			
刑法の基礎	LAW200HA	法と倫理・道徳との関係、刑法の意義・役割、刑罰の目的、刑法と他の法律との関係や刑法の原則及び犯罪の成立要件の基礎の習得すること。また、犯罪とその背後にある社会問題について、多角的で広い視野で考えら	◎			
環境法Ⅰ	LAW300HA	環境法政策の生成、体系等の基礎を学ぶことにより、持続可能な社会に生きていくための基本が習得できること。		◎		
環境法Ⅱ	LAW300HA	環境私法の基礎理論となっている不法行為法、民事差止訴訟や国家賠償法、紛争処理制度、大気、水質、騒音、土壌といった具体的な環境汚染に関する民事判例の特徴、嫌悪施設に関する訴訟について理解を深めること。		◎		
環境法Ⅲ	LAW300HA	公害、廃棄物、リサイクルに関連する主要な法律に関連して、これに対する法の仕組み（規制対象、規制基準、規制を遵守させる仕組み）などの概要を把握し、大気汚染等の状況や廃棄物リサイクルの現行政策の内容と問題点に関する理解を深めること。		◎		
環境法Ⅳ	LAW300HA	環境刑法すなわち環境保護のためにある刑法から、適正な犯罪処罰の基本原則および限界を理解すること。		◎		
労働環境法	LAW300HA	「労働環境法」として取り上げる労働法上の基本的な法規制および重要な判例について理解すること。		◎		
国際環境法	LAW200HA	国際環境問題に関する国際法の枠組みを理解すること。		◎		
比較環境法	LAW300HA	環境保全に関して社会で必要となる基礎的な制度に関する知識を習得するとともに地球社会の一員として国際的に協調して取り組む重要性を把握す		◎		
行政学	POL100AC	政府の役割と限界についての的確に理解すること。また、現代官僚制の役割と限界についての的確に理解すること。	◎			
地域協力・統合	POL300GA	地中海やアフリカ大陸、またロシアや中東地域を含むユーラシア大陸といった隣接地域との交流も念頭に置きながら、ヨーロッパ統合の問題を、より包括的、原理的な視点において考える姿勢を身につけること。		◎		
自治体環境政策論Ⅰ	POL300HA	①政策構造や政策過程に関する行政学・公共政策学などの学問的なとらえ方を理解する。②自治体環境政策の政策開発の軌跡に関する知識を習得し、歴史社会的な見方を理解する。③自治体環境政策の動向と課題に関する知識を習得する。		◎		
自治体環境政策論Ⅱ	POL300HA	①「持続可能な地域社会」にかかわる概念と政策規範・政策原則を理解する。②持続可能性からみた自治体環境政策・自治体政策全般の動向と課題に関する知識を習得する。		◎		
アメリカ環境法	LAW300HA	アメリカ環境法に対する基本的な理解力をつけること。日本の環境法との比較検討に関する理解を深めること。		◎		
地球環境政治論	POL300HA	①地球環境問題をめぐる合意形成のメカニズムを国際関係論の視点から理解できること。②地球環境問題をめぐる国際機構や環境NGO、企業といった様々なアクターの活動が理解できるようになること。③貿易と環境、環境と安全保障といった複合的な問題をめぐる合意形成のメカニズムを理解できるようになること。④日本やアメリカの地球環境外交を理解できるようになること。⑤ヨーロッパやアジアなど地域レベル多様な環境ガバナンスの現状を理解できるようになること。⑥グローバル・ガバナンス、地球環境ガバナンスといった国際関係論の視点を理解できるようになること。		◎		
ミクロ経済学Ⅰ	ECN200HA	需要曲線・供給曲線とその背後にある消費者行動・生産者行動について学び、現実の様々な経済現象や政策の効果を分析できること。	◎			
ミクロ経済学Ⅱ	ECN200HA	不完全競争市場での経済行動やその結果起こる資源配分の歪みについて学び、現実の様々な経済現象や政策の効果を分析できるようになること。	◎			
マクロ経済学Ⅰ	ECN200HA	日本経済の動向を、世界の動きを意識しながらデータに基づいて理解し、今後の日本の経済政策及び産業構造がいかにあるべきかを理解すること。	◎			
マクロ経済学Ⅱ	ECN200HA	現実の貨幣経済とミクロ経済学が対象とする物々交換経済では、経済に対する見方がどのように変化するかを理解すること。	◎			
現代企業論	MAN200HA	ヒト・モノ・カネ・情報等の各要素を効率的に機能させる株式会社制度と様々な経営課題に立ち向かう企業の姿勢を理解し、社会的器官としての企業の役割に対する理解を深めること。	◎			
経営学入門	MAN200HA	経営学の基本的な理論と、企業の実践的取組みについて取り上げ一連の経営活動を理解すること。	◎			
環境経営と会計	MAN200HA	ミクロ会計のうち、企業を対象とした会計（企業会計）を学習し、企業やその経営者における会計の役割や重要性が理解できること。また、会計固有の計算技法を身につけることができること。	◎			
簿記入門Ⅰ・Ⅱ	MAN100FA	日商簿記3級程度の簿記の基礎を習得すること。	◎			

公共経済学	ECN200HA	市場経済における公共部門の役割（市場経済の利点（厚生経済学の基本定理）と限界（市場の失敗）、公共財の効率的配分、外部性の市場的解決、環境税と排出権取引、情報非対称性問題への対処方法）について習得す	◎			
環境経済論 I	ECN300HA	環境経済学の側面から、環境問題を考える際に必要となる基礎的で重要な概念・考え方を学ぶとともに現実への応用力を獲得すること。とくに市場機構を補完する環境政策の基礎を習得する。		◎		
環境経済論 II	ECN300HA	環境経済学で基礎的かつ重要な考え方や概念等を応用する力を身に付ける。とくに持続的な資源利用、長期の環境問題、環境の評価などに注目して理		◎		
環境経営論 I	MAN300HA	日本企業で現在実践されている環境経営やサステナビリティ経営における方針（戦略）、仕組み（組織）、運営（管理）という一連の流れとその取組内容を習得すること。		◎		
環境経営論 II	MAN300HA	国内の地域で現在実践されている環境経営やサステナビリティ経営における方針（政策、施策、事業計画）、仕組み（組織）、運営（管理）という一連の流れとその取組内容を習得すること。		◎		
環境経営実践論 I	MAN300HA	①国際的基本ツールISO14001の意図と基本概念を理解すること。②環境影響評価と予防・継続的改善を実践的なPDCAの基礎的仕組に適用できること。③ライフサイクルアセスメント、環境ラベル、環境コミュニケーション、環境会計、社会的責任・コンプライアンス等の国際規格ISO上の位置づけ、目的・意図を明確に説明できること。		◎	○	
環境経営実践論 II	MAN300HA	環境経営にプラス・マイナスのインセンティブをもたらす有益・有害な事業機会リスクのマネジメント手法についての理解を深めること。また、サプライチェーンマネジメントやコンピタンス・マネジメントが環境マネジメントシステムとどのようにかかわってくるのかを説明できること。		◎	○	
ビジネスストーリー	MAN200HA	現代企業の発展プロセスを理解し、企業が長年培ってきた強み・弱み、企業理念、CSRの取り組み等を理解する能力を高めること。	◎			
CSR論 I	MAN300HA	CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) やBusiness Ethics (経営倫理) に関する基本的理論と世界的な潮流を理解すること。また、サステナブル社会において求められる企業の役割と企業に所属する個人の職業倫理のあり方について理解を深めること。		◎		
CSR論 II	MAN300HA	企業と社会の間に存在する様々な矛盾を解消するための仕組みとしてのCSRについて理解を深めること。		◎		
環境マネジメントスタディーズ I	MAN300HA	気候変動問題を正しく理解し、パリ協定の下で、世界が脱炭素社会の実現に向けてどのように取り組んでいくのか、という点を包括的に理解すること。		◎		○
環境マネジメントスタディーズ II	MAN300HA	エコロジカル・フットプリントを用いて、地球環境の実情を理解し、気候変動問題の解決していくためには何をしなければならないのか、という点		◎		○
国際環境政策 I	ECN300HA	国際的な視点から、環境政策と経済との多様な繋がりを理解すること、とくに、採用される政策手段のさまざまな課題を環境経済学の側面から理解		◎		
国際環境政策 II	ECN300HA	さまざまな環境問題に関して統計データ等を通じて現状を理解すること。また、世界の環境政策の潮流と日本の対応について主として経済学の観点から理解すること。		◎		
環境ビジネス論	MAN300HA	環境ビジネスと総称される多様な企業活動のビジネスモデルの成長性やリスクについて具体的に理解すること。また、そのビジネスモデルを検討する際に、ファイナンス的な見方を理解すること。さらに、また、企業分析と発表・フィードバックを経験することで、プレゼンテーション能力を向	◎		◎	
途上国経済論 I	ECN300HA	途上国経済の分析枠組み、特徴、主要地域や主要国の経済・社会の特徴について学び、日本社会や経済の世界における位置づけをよりよく理解し、将来社会に出た際に諸外国の人々と基礎的な知識に基づいた意味あるコミュニケーションができるようにすること。		◎		
途上国経済論 II	ECN300HA	主要地域や主要国の経済・社会の特徴について学び、日本社会や経済の世界における位置づけをよりよく理解し、南北問題や世界貿易など、個々の国や地域が置かれている「構造」への理解を深めることで、将来社会に出た際に諸外国の人々と基礎的な知識に基づいた意味あるコミュニケーション		◎		
国際経済協力論 I	ECN300HA	経済協力の歴史、仕組み、その背景にある途上国開発の理論、これまでの経済協力の成果や影響、近年の新たな課題と取組みなど、国際経済協力に関する基礎的な知識を習得すること。		◎		
国際経済協力論 II	ECN300HA	誰が、なぜ経済協力を行うのか、経済協力の目的とされている「開発」とは一体何を意味するのか、という点を中心に各テーマにアプローチすることで、国際経済協力に関する基礎的な知識の習得すること。		◎		
平和学	POL200HA	①平和学誕生の背景、その学術的特徴、平和学が考える「平和」や「平和主義」の意味といった、平和学の学問的内容を習得すること。②核兵器、貧困、平和構築、テロリズム、日本外交の役割に対する具体的な課題を理	◎			
人間の安全保障	POL300HA	安全保障概念の変遷、人間の安全保障に対する国際機関・国家の政策、人間の安全保障問題に対する具体的な取り組みを包括的に理解すること。		◎		
地域形成論	ADE300HA	人間と環境の時代の「地域プランナー」となるための基本的なセンスと柔軟な考え方、骨太の方向感覚を身につけること。問題発見から問題解決に至るプロセスについていくつかのケーススタディを通し、具体的な見方や		◎		
地域経済論	ECN300HA	地域経済に関する、基礎的理論、実際問題、政策について理解し、地域経済への基本的な見方を習得すること。		◎		
地域福祉論	SOC300HA	地域福祉とは何か、地域の様々な社会資源の活用とその開発について理解すること。また、地域においてお互いを支え合っていくための方法を理		◎		

地域コモンズ論	SOC300HA	コモンズ論における諸概念を理解し、実践的知識を蓄積すること。地域住民レベルでの資源保全と地域共同体のあり方において幅広い視座を養うこと。身近なモノ、自然、そして環境利用・管理について、コモンズ論を踏まえて自身の考えを示すことができること。	◎			○
都市環境論 I	ADE300HA	豊かで環境負荷の少ない人間重視の都市づくりについて、基本的センスとしての方向感覚を身につけること。	◎			○
都市環境論 II	ADE300HA	新しい都市づくりプランナーに必要な、都市環境問題への対応や政策を含めた、プランニングに関する基本的な知識と感覚を身につけること。	◎			○
都市デザイン論	ADE300HA	都市環境や住環境の要素を理解すること。自分の考える住宅がイメージできて表現できるようになること。	◎			
環境社会論 I	SOC300HA	社会学的な視点から人間の行動と「環境」との関係のあり方について学び、環境社会学の基本的なアプローチを習得すること。	◎			○
環境社会論 II	SOC300HA	環境問題に関わる社会運動の多様なかたちや活動の条件、活動の意味などを理解すること。地域的な共同性・公共性を構築するための市民参加の制度設計に関する理解を深めること。	◎			○
環境社会論 III	SOC300HA	環境（自然）と地域の持続性に関する議論について、合意形成・レジティマシー・生業・半栽培・順応的管理・適正技術・負の遺産と地域再生、縮小社会といったキーワードへの理解を深めること。	◎			○
NGO活動論	SOC300HA	①「途上国」の人々が直面している問題とそれらのつながりについて体験的に理解すること。② NGOと市民社会に関する歴史と現状を理解し、広い視野で世界の人々のつながりを考えられるようになること。③ NGO活動を通して自ら世界に関わろうとする積極性と市民性を身につけること。	◎			○
ローカルスタディーズ I	SOC300HA	農山村の根幹的産業である農林業や農山村の集落の現状と課題について理解すること。またその問題解決を構想できるようになること。	◎		○	○
ローカルスタディーズ II	SOS300HA	コミュニティ・デザイン（まちづくり）に関する理論、技術、制度について基礎知識を習得すること。また、身近なまちづくりの事例を調査分析し、望ましい解決策を提示することができるようになること。	◎		○	○
災害政策論	SSS300HA	災害とは何か、現状の政策の背景、今後の国・自治体の災害政策のあるべき姿に対する理解を深める。	◎			
社会開発論	SOC300HA	①社会開発の概念、テーマの基本的な知識を習得する。②途上国と先進国、当事者と支援者、というような二項対立ではなく、また自分と違う立場にある人びとを他者化することなく、「貧困」を理解すること。	◎			
国際社会学	SOC300HA	在日ブラジル人の移動と生活の実態を総合的な観点から理解することで、今日、世界的に生じているトランスナショナルな現象について理解すること。	◎			
西欧近代批判の思想	PHL200HA	西洋近代への批判を、人間を超えた存在（イデア、神など）の尊重と、人間中心主義に対する批判として把握すること。		◎		
仏教思想	PHL200HA	インドの初期仏教思想の展開を手掛かりにして、西欧的思考法とは異なる東洋的な思考法を身につけることによって、複眼的な視点を身につけること。		◎		
日本詩歌の伝統	LIT200HA	①「俳句」の定型詩としての規則を習得すること。②定型詩の創作を通して言葉に関する感覚を磨くこと。③「切字」「取り合わせ」といった俳句に関する技法について理解し、実作に応用すること。④日本の詩歌の伝統のなかではぐくまれてきた季語の豊かさを理解すること。⑤主だった季語		◎		
日本美術史論	ART200HA	近代日本画に関するさまざまな用語の意味を理解し、その発展の歴史に関する基礎的知識を習得すること。また、近代日本画の読解力を習得すること。		◎		
西洋美術史論	ART200HA	①19世紀末から現代までの美術工芸史の動きと万国博覧会の日本美術の展示を学ぶことにより、「ジャポニスム」ブームについて習得する。②ジャポニスム後に流行した様式であるアール・ヌーヴォー、アール・デコなどのデザイン史の背景を習得する。③日本とフランス工芸のかかわりについて分析し「ジャポニスム」と、ネオ・ジャポニスムともよべる、現代の工芸におけるジャポニスムについて習得する。		◎		
生命の現在と倫理	PHL200HA	①生命倫理学における基礎的概念を正しく理解すること。②インフォームド・コンセント、クオリティ・オブ・ライフ、出生前診断、生殖補助医療について技術面、法律面における現状と、いかなる倫理的問題を含んでいるかを習得すること。③これらの問題を自らの問題として考え、判断し、その結論をどのように実行するかといった能力の習得すること。		◎		
環境倫理学	PHL200HA	さまざまな環境倫理学の思想内容や立場を理解することによって、偏在した一方的な環境倫理思想に捕らわれることなく、広範で総合的な環境倫理思想の視野を形成すること。		◎		
環境哲学基礎論	PHL300HA	環境について基本的なことを哲学すること、環境問題や日常生活の中であまりに当たり前すぎて疑問に感じないことに目を向けて批判的に考え抜くこと。		◎		
現代思想と人間 I	PHL200HA	西洋近代について、社会思想史という枠組みから、現代社会を構成しているさまざまな社会概念について、それら諸概念に関する歴史的議論の内容と背景を習得すること。		◎		
現代思想と人間 II	PHL300HA	西洋現代について、社会思想史という枠組みから、現代社会を構成しているさまざまな社会概念について、それら諸概念に関する歴史的議論の内容と背景を習得すること。		◎		
日本環境史論 I	HIS300HA	日本の環境史を理解するのに必要なさまざまな学習スキルを習得し、また歴史資料の読解・分析を通じて歴史事実を論理的に組み立てる思考力を習得する。そして、環境問題解決の歴史的知見を習得すること。		◎		

日本環境史論Ⅱ	HIS300HA	江戸町の拡大によって生じた都市・環境問題を歴史的に把握しながら、その問題解決の取り組みを検証し、江戸の都市環境について習得する。また歴史資料の読解・分析を通じて歴史事実を論理的に組み立てる思考力を			◎		
ヨーロッパ環境史論Ⅰ	HIS300HA	ヨーロッパの都市の歴史的発展を、その景観、住民の生活世界や、自然環境との関係などから理解すること。			◎		
ヨーロッパ環境史論Ⅱ	HIS300HA	1920-30年代のヨーロッパを題材に、「サステナブルな世界」をつくるための努力が、どのようになされ、どのように失敗に終わったかを検証し、われわれの時代の「サステナブルな世界」についての理解を深めるこ			◎		
環境人類学Ⅰ	CUA200HA	身近な環境問題について文化人類学的アプローチを利用しながら再考することで、人間と環境の関係についての知識とグローバルな視点を深めることに加え、クリティカルシンキングを習得すること。	◎				
環境人類学Ⅱ	CUA300HA	持続可能性とは何か、持続可能社会の実現のために過去にどのような方策が取られ、現在どのような課題が生じているのか、事例と人類学的アプローチを通して習得すること。			◎		
環境人類学Ⅲ	CUA300HA	災害にまつわるキーワードの意味を多角的に探求することで、文化、社会システムについて考察する力を習得すること。			◎		
環境表象論Ⅰ	TRS200HA	「文化的景観」が、従来の文化財の考え方とは一線を画する、「環境」の世紀にふさわしい新しい概念であることが理解できること。	◎				
環境表象論Ⅱ	TRS300HA	「五感」をばらばらに区別するのではなく、相互作用の融合感覚として捉えることが有効なことを習得できること。「五感豊か」とは快適なものだけを指すのではないことを習得すること。			◎		
比較演劇論Ⅰ	ART200HA	演劇の各ジャンルについて基本的な教養を身につけること。	◎				
比較演劇論Ⅱ	ART300HA	さまざまな演劇作品・関連芸術への鑑賞眼を養うこと。			◎		
文化経営論	SOG200MA	文化をマネジメントするという視点を養うために、文化を取り巻くさまざまな制度と、文化を推進、支援している多様な実践的活動についての理解					
自然環境論Ⅱ	GEO200HA	「湿潤変動帯」日本列島の地形的個性を見つめなおし、人間社会との関わりあい習得する。大地の個性と成り立ちを知って土地が変貌する必然性を受容し、土地条件や土地利用といった視点から人間社会のあり方を考え	◎				
自然環境論Ⅲ	GEO200HA	変動地形と古地震の調査法を学んだ後、日本列島各地の変動地形について、海外の事例を参照しつつ地域的差異・メカニズム・歴史の変遷の概要を理解し、地殻変動の必然性について習得すること。	◎				
自然環境論Ⅳ	DES300HA	①生物の進化と地球的視野の自然環境問題、②保全生態学による野生生物の保護と管理、③東南アジアにおける自然との軋轢と共生、④景観生態学と環境倫理学、⑤企業活動や都市と生物多様性、について習得すること。			◎		
エネルギー論Ⅰ	INE200HA	①エネルギーと人間生活、社会との結びつきを説明できる。②各種エネルギー資源の特徴とその利用方法、原理について説明できる。③現代のエネルギーの利用状況と国際的な動向を説明できること。	◎				
エネルギー論Ⅱ	INE300HA	①エネルギーと環境問題との結びつきを説明できる。②各種再生可能エネルギーの仕組みを説明できる。③再生可能エネルギーの効率、環境負荷低減効果、課題を説明できる。			◎		
地球科学史Ⅰ	SHS200HA	略画的地球観を非科学的として否定的に取り扱うのではなく、今日の我々の日常的な地球に対する見方・考え方に大きな影響を与えていること	◎				
地球科学史Ⅱ	SHS200HA	地震学を含めて地球科学の可能性と限界を歴史的観点から習得すること。	◎				
環境健康論Ⅰ	BOM200HA	①「持続可能な環境重視の社会」を構築するために、環境と健康の対応関係を理解できる。②ホメオスターシスと病気の関連性について、日本人の死因について、人間のがんに関わる要因について、創傷の治癒過程について、免疫の働きと役割について、腸内細菌と免疫系の関係について、食べることの重要性について、9. 治癒を促進する食品について、. 治癒と排出の関係について、説明することができる。また、治癒を妨げるものを列挙できる。さらに、こころが治癒に果たす役割などについて、自らの健康感を	◎				
環境健康論Ⅱ	BOM200HA	①補完代替医療の健康観について説明できる。②世界の伝統医療についてその特徴を説明できる。③代表的な補完代替医療を列挙でき、その内容を概説できる。④表的な補完代替医療の特徴、長所および短所を説明できる。⑤現代西洋医学と補完代替医療を比較し、それぞれの特徴を説明でき	◎				
気候変動論Ⅰ	PLN200HA	地球温暖化、気候システムを中心に、気候変動の科学的なリテラシーを身につけることができること。	◎				
気候変動論Ⅱ	EAE200HA	地球温暖化の実際と影響について、地球誕生から現在までの気候変動について、昨今の地球温暖化をめぐる動向について、それぞれ習得すること。	◎				
自然環境政策論Ⅰ	DES300HA	①保全対象となる自然環境の特性と、人間活動によって引き起こされた問題の現状と課題について、②人間による影響を減らすために取り組まれてきた主な保全対策について、それぞれ習得すること。			◎		
自然環境政策論Ⅱ	DES300HA	①日本における自然環境保全へ向けた誘導的・社会的な取り組みの考え方とその実際について、②諸外国における取組の事例とその仕組み、並びに国際条約による保全について、それぞれ習得すること。			◎		
環境科学Ⅰ	ENV300HA	大気汚染（ばいじん、硫酸化物、窒素酸化物、アスベスト）、上下水道の構造と処理のプロセス、水質汚濁（富栄養化のメカニズム、工場排水の処理）、土壌汚染（原因、対策技術）、廃棄物（法律上の定義と現状）、リサイクル（意義と現状）、基準の決め方（リスク論と基準の決定方法）を事例に、環境問題の発生メカニズムと対策技術の基礎を習得すること。			◎		

環境科学Ⅱ	ENV300HA	人口増加のパターンと要因、オゾンホールが南極上空にできるメカニズム、気候変動のメカニズムと緩和策、適応策、気候変動をめぐる社会、越境大気汚染の原因と対策、中国の資源と環境、環境国際協力を事例に、の環境問題の発生メカニズムと対策技術の基礎を習得すること。					◎		
環境科学Ⅲ	ENV300HA	資源の歴史的意味に始まり、さまざまな資源（淡水、エネルギー、土壌とリン、窒素、遺伝資源、ベースメタルとレアアース）の性質や利用などについて学習することで、資源の科学的性質や利用の見通しについての基礎					◎		
衛生・公衆衛生学Ⅰ	SOM300HA	予防医学の基礎となる考え方と、現代社会に潜むさまざまな健康関連問題を取り上げ、健康意識の提起を行い、個人として自己健康管理を行ううえで必要な知識を習得すること。					◎		
衛生・公衆衛生学Ⅱ	SOM300HA	各種保健の問題点について、疫学の基礎、疫学調査、スクリーニングについての知識を習得する。また、実際にスクリーニングプログラムの評価法を学び、健康診断の意味を習得する。					◎		
衛生・公衆衛生学Ⅲ	SOM300HA	精神関連の話題を取り上げ、メンタルヘルスについての幅広い知識を習得すること。					◎		
大気と社会Ⅰ	EAE300HA	①大気運動現象の性質を説明できる。②大気をもたらす社会リスクを説明できる。③人間生活圏における気流の流れ方を説明できる。					◎		
大気と社会Ⅱ	EAE300HA	①大気運動による物質輸送と社会との関係について説明できる。②都市独特の気象と大気の動きとの関係を説明できる。③人間生活で利用している気流について説明できる。					◎		
環境モデル論Ⅰ	ENV200HA	地球システムとその上で行われている人間活動の特徴を科学的に考察するための背景を習得すること。			◎				
環境モデル論Ⅱ	ENV200HA	自然界で観察されている幾つかの現象を再現しそれを分析する力を身につけること。また、エントロピーの概念を習得し、物質循環などの問題に結び付けて考察ができるようになること。			◎				
公害防止管理論Ⅰ	ENV300HA	水環境の原理原則と実践的知識を基礎から習得すること。					◎		
公害防止管理論Ⅱ	ENV300HA	大気保全の歴史や法規制、排ガス処理技術、測定技術について基礎的知識を習得すること。					◎		
廃棄物・リサイクル論	ENV300HA	廃棄物と有価物の差異、廃棄物の処理プロセス、廃棄物処理法と各種リサイクル法規、リサイクルなど3R政策の現状と意義、今後の廃棄物対策のあり方等を考えるための知識と考える力を習得すること。					◎		
食と農の環境学Ⅰ	ASS300HA	農業経済学の基本的な知識を身につけるとともに、日本農業が抱える問題点、今後日本農業が向かうべき進路について自分の考えを持ち、論理的に表現することができる。					◎		
食と農の環境学Ⅱ	ASS300HA	「農」や「食」が現代の自然環境の仕組みや環境問題と密接にかかわっていることを習得すること。					◎		
食と農の環境学Ⅲ	ASS300HA	食料生産を担う農業・農村の現状を理解するとともに①食料自給率や食品の安全性確保の現状と課題②農業生産を支える技術の発展と課題③産業としての農業生産活動と環境保全機能の関係④地球環境問題に対応した農業生産⑤新たな農業生産の展望、等についての知識を取得し、農業問題について多面的なものを見方を身につける。					◎		
グローバルスタディーズⅠ	ARS1300HA	①身近なモノを事例として、生産地や生産者その他のステイクホルダーに関する具体的なイメージを持ち、社会 経済の動き方を理解できること。②文献や統計資料（英文含む）を読みこなす力を身につけること。③ウェブサイト上にある情報を丸のみせず、情報発信者の立場や目的を客観的に判断して使いこなす力を身につけること。④調べて得た知識を基礎として、独自の視点で課題や解決策を提案する力を身につけること。					◎	◎	○
グローバルスタディーズⅡ	ARS1300HA	①現代の社会の成り立ちには歴史的経緯があることを理解し、その知識をふまえて現代の国境を超える人の移動について理解することができる。②文献や統計資料を読みこなす力を身につけること。③ウェブサイト上にある情報を丸のみせず、情報発信者の立場や目的を客観的に判断して使					◎	◎	○
研究会 (A)	OTR400HA	【テーマによって異なる】			○		◎	◎	◎
研究会 (B)	OTR400HA	【テーマによって異なる】			○		◎	◎	◎
研究会修了論文	OTR400HA	各自でテーマを決め、研究会修了論文を執筆すること。						◎	
コース修了論文	OTR400HA	各自でテーマを決め、コース修了論文を執筆すること。						◎	
フィールドスタディ	OTR200HA	教室での講義や文献から学んだ事柄を、「現場」における実体験を通じて検証し、当該フィールドにおけるトピックス、テーマに関する知識を習得するとともに、人間環境学部で学ぶ自らの問題意識を高めることができる					◎		◎
キャリアチャレンジ	CAR300HA	行政、協同組合等の現場を学び、仕事現場の状況や、キャリア形成に関する知識を習得すること。							◎
インターンシップ	CAR200HA	在学中に企業・行政組織・NPOなどで短期の就業を体験することでキャリア形成への意識を高め、卒業後の進路選択に資する知識と態度を習得す							◎
人間環境セミナー	OTR200HA	【テーマによって異なる】					◎		◎
人間環境特論	OTR200HA	【テーマによって異なる】					◎		
スタディ・アプロードⅠ～Ⅷ	LAN200HA～LAN207HA	【テーマによって異なる】			◎			◎	
Field Workshop	OTR200HA	Students will be able to understand better how to relate classroom knowledge and skill to real-life agenda through a field study.							◎
Co-Creative Workshop A1	OTR200HA	By the end of the semester, students should be able to: 1) identify and analyze sustainability problems, 2) interact proactively and collaborate among diverse participants 3) reach and design			◎		◎		

Co-Creative Workshop A2	OTR200HA	By the end of the semester, students should be able to: 1) identify and analyze sustainability problems, 2) interact proactively and collaborate among diverse participants 3) reach and design	◎	◎			
Co-Creative Workshop B1	OTR200HA	未定	◎	◎			
Co-Creative Workshop B2	OTR200HA	未定	◎	◎			
SCOPE Seminar	OTR400HA	【テーマによって異なる】			◎	◎	◎

労働環境論Ⅲは学則にあるが、開講していない。